

希陽の空へ

2024年1月26日
No.70

三豊市立比地小学校

〒767-0004

三豊市高瀬町比地93番地

TEL 0875-72-5213

FAX 0875-56-2054

文責 長谷川 忍



学校のめあて

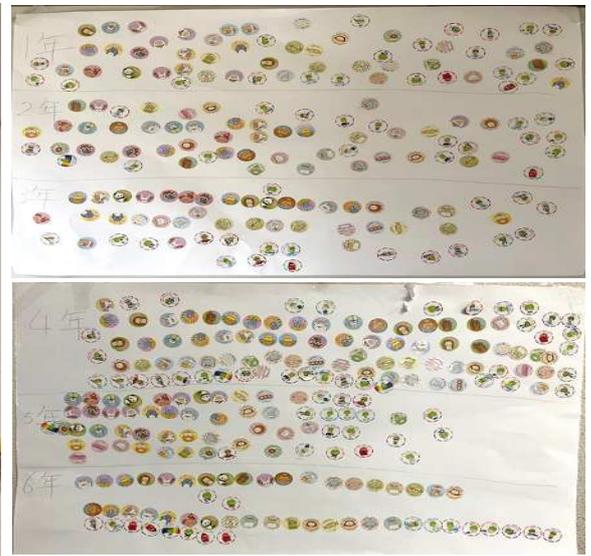
心豊かでたくましく

自ら学んで未来を創る

あいさつオリンピック結果

26日(金)で先週から児童会が児童玄関で取り組んできた『あいさつオリンピック』期間が終わりました。元気なあいさつができた児童に渡したシールが、廊下の表にたくさん貼られています。全校児童が期間中にゲットしたシールの合計枚数が905枚となり、目標の800枚を超えました。素晴らしい!!

あいさつは、自分にも相手にも元気を与えてくれます。あいさつオリンピック期間は終わりましたが、来週からもあいさつがたくさん交わされる元気いっぱいの比地小学校を続けていきましょう。



SLIM月面着陸成功

SLIM(スリム)と聞いて、何のことか分かる人はいますか。写真の右上に見える宇宙航空研究開発機構(JAXA)の探査機の名前です。SLIMの探査計画は、「月の狙った場所へのピンポイント着陸」「着陸に必要な装置の軽量化」「月の起源を探る」といった目的を、小型探査機で月面にて実証することです。

SLIMは、去年9月にH2Aロケット47号機で種子島宇宙センターから打ち上げられ、今月20日未明に月への着陸に日本で初めて成功しました。世界で成功したのは、旧ソ連、アメリカ、中国、インドに続き、日本が5カ国目となりました。

今朝(26日)の四国新聞の記事によると、「ピンポイント着陸」で目標とした100m以内をはるかに上回る高精度の10m以下で達成でき、日本の宇宙探査技術の高さを証明したとのことです。SLIMの写真は、着陸直前に分離した2機の小型ロボット「SORA-Q(ソラキュー)」が撮影したものです。タカラトミーが開発した超小型変形ロボットは、乗り物から人間ロボットに変形する「トランスフォーマー」の技術が応用されています。数時間のバッテリーが尽きた後は月面に残るので、昨年12月のJAXAの会見では、「皆さんが宇宙飛行士になって回収してくれるのを待っている」と子どもたちに夢を託しています。比地小学校から宇宙飛行士が誕生して、回収する日が来るのを期待しています。

